グランプリを決定

コクヨデザインアワード2025

創作活動サポートするペン

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、才能あるデザイナーの応援と共創を目的とするプロダクトデザインの国際コンペティション「コクヨデザインアワード2025」最終審査を行い、グランプリ作品1作品と優秀賞3作品を決定した。

黒田社長㊧とグランプリ受賞者

今回で22回目を迎えた「コクヨデザインアワード」は、「prototype」をテーマに、昨年7月26日から10月9日まで実施。国内外61カ国合計1448点（国内716点、海外732点）の応募作品の中から、川田敏之氏の「NEWRON」がグランプリを獲得した。

グランプリの「NEWRON」は、グリップ部分に様々な形状の突起が施されたペンで、「かく」という作業と同時に指先から脳の働きを促し、創作活動をサポートするアイデアを生み出す。

グランプリを受賞した「NEWRON」

優秀賞の3作品は、一條遥貴氏の「スピニング」（本についている紐、スピン。スピンに芯材を入れることで、少しだけ自由な〝何か〟になる可能性を広げる）。松村佳宙氏の「KAKONET」（あなたの内側にある、想いや、意識、記憶を「」を通して、より可視化し、強く印象づけ、留めるためのマグネット）。weichen氏の「秘密」（日記帳の横線を中心に向かって収縮させることで、「秘密の言葉」が、まるで奥深くに隠れているかのように感じる）。

海外初の公式ストア

サンエックス　韓国・ソウルのホンデに

サンエックス株式会社（千田洋史社長、東京都）は、韓国ナンバーワンのアニメ、キャラクター会社「大元メディア（テウォンメディア）」の運営で、3月28日、韓国・ソウルのホンデ（弘大）に、同社初の海外オフィシャルストア「Rilakkuma Sumikkogurashi PLUS by San-X」をオープンした。

韓国にオープンした海外初のオフィシャルストア

同社はこれまで、アジア各国やアメリカなど、海外でPOP-UP SHOPや周遊ツアーを実施していたが、海外においても同社のキャラクターの人気が高いことから、海外オフィシャルストア第1号店を、世界中の若者に大人気の注目都市、韓国・ホンデにオープンすることを決めたという。

店舗全体はリラックマとすみっコぐらしのやわらかで癒しの雰囲気が伝わるパステルカラーで統一し、リラックマの好物であるプリンやホットケーキが散りばめられていたり、リラックマの着ぐるみが干してあったりと、キャラクターの個性が伝わるようなデザインの内装を施している。

買い物コーナーでは、リラックマとすみっコぐらしだけでなく、サンエックスキャラクターの様々な商品や韓国オフィシャルストア限定商品など幅広いアイテムを取り揃え、加えて韓国オフィシャルストアでしか手に入れることができない限定グッズも用意している。

体験コーナーでは、来店の記念にもなるような、自分だけのリラックマとすみっコぐらしのフォトカードやネームステッカーが作成できるキオスクが登場。

また、店内には韓国語でのキャラクター紹介を、リラックマ・すみっコぐらし共に大きく展開している。

文具検定の本試験

4月18日～21日まで実施

文具業界の活性化と文房具ファン拡大を目的に、有限会社文房具屋さんドットコムが運営し、文具専門紙誌4社（紙製品新聞社、全通、日本文具新聞社、メイプン）が共催する文具知識能力検定（略称＝文具検定）の「第18回Web本試験」が、4月18日午前10時～21日午後5時まで実施する。

本試験は事前申し込みが必要で、4月1日午前10時～4月17日午後5時までの期間に受け付ける。インターネット環境があればどこでも受験でき、受験申し込みを行うと、ログインIDとパスワードが交付される。

本試験の出題数は50問で、制限時間は30分。80点以上（40問以上正解）を合格ラインとして即座に採点し、合格、不合格を判定して表示する。受験料は無料。

設問内容は、過去の模擬試験で出題した問題を中心に、文具・事務用品・紙製品など、製品についての一般的な知識、歴史から、製品の規格・呼称、商品ブランドについてなど、総合的な設問で構成する。

なお、4月1日～17日までWeb上にトレーニングページを開設している。

受験料は無料だが、合格者が合格認定証を希望する場合は「有料（税込3300円）」で発行する。

文具検定サイト　https://www.bungukentei.jp

ぺんてるアーツ　店頭陳列コンテスト表彰店発表

ぺんてる株式会社（和田優社長、東京都）は、第2回「Pentel Arts（ぺんてるアーツ）店頭陳列コンテスト」を昨年8月20日から11月10日まで実施し、全国の販売店174店舗から応募が寄せられた。このほど審査が終了し、表彰店舗が発表された。

同コンテストは、「手描きを、贈ろう。」をコンセプトに掲げ、手書き・手描きの楽しさを店頭から消費者に伝えることを目的として開催。

審査の結果、グランプリにはCOMPASS Yonago R431店（鳥取県米子市）が選出。準グランプリにはペンマート可児株式会社（岐阜県可児市）と大丸藤井セントラル株式会社（北海道札幌市）の2店舗が選ばれた。

グランプリのコンパス米子R431店を表彰

表彰は、ぺんてるの八巻国内営業本部長および地区責任者が各受賞店舗を訪問し、直接授与した。

コクヨが健康経営銘柄に初選定

グループ2社も

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、健康経営に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2025」に初選定された。

また、コクヨ株式会社とコクヨグループでオフィス通販を行う株式会社カウネット（宮澤典友社長、東京都）は、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2025（ホワイト500）」に7年連続8度目、コクヨグループのコクヨマーケティング株式会社（石井健一社長、東京都）が「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に6年連続で認定された。

健康経営銘柄は、東京証券取引所に上場している企業で、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践する企業の中から、健康経営の取り組みが特に優れた企業を選定する取り組み。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度で、同社は規模の大きい企業や医療法人等を対象とした「大規模法人部門」において認定された。

ふぐ料理楽しむ

○…大紙工歩こう会

大阪紙製品工業会（黒田章裕会長）の第299回歩こう会は、2月27日に大阪市西成区の「新お多福」で開催、旬のふぐ料理を楽しんだ。

当日は、会員及び特別会員17人が参加、恵美須町駅より阪堺線で住吉大社に向かい、新春の参拝を行った。

懇親会は、リンテック・木村慶太大阪支社長の乾杯の音頭で開宴、賑やかに歓談、懇親を深めた。

最後に、黒田会長が「歩こう会も回を重ねて今回で299回、次回で300回を迎えるが、今後とも会員と特別会員の懇親の場として継続していきたい」と閉会挨拶した。

歩こう会の参加者

KOKUYO

貼るって、こんなに変われる。

GLOO